



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

帯広西ロータリークラブ

第2364回例会

2021.11.4

会報



Rotary



■RI第2500地区スローガン■

ロータリーの素晴らしさを
広めましょう

■クラブ・テーマ■

覧古考新～感謝と恩返し～

11月誕生祝

林 文昭	会員	1947.11.22
茨木 雅敏	会員	1951.11.25
若林 剛	会員	1956.11.19
太田 豊	会員	1961.11.22
辻田 茂生	会員	1962.11.10
菊池 俊博	会員	1973.11.10

上野 庸介 会員



まして交流を広げさせて頂き今の幸福駅のところに桂の木を植えて交流を深めさせて頂いております。今回は会長はじめ4名で50周年のPRをしに高松の訪問をさせて頂いております。

今日は会長が留守ですので50年前のクラブの創設の話させて頂きます。50年前は今の構成にない委員会が3つありました。1つは職業分類委員会です。当時は一職業に一会員だったと思われるので会員を増強するためにも職業を細分化する必要があったのだと思います。また二つ目は雑誌委員会です。ロータリーの友に投稿を行ったり、ロータリーの友の重要な記事を例会で紹介する委員会が存在していました。ロータリーの友を読み、ロータリアンとしての自覚を培っていただくよう会員に呼びかけることが大きな委員会の目的であったと記されています。最後に会員選考委員会です。推薦のあった方を審査する委員会です。審査の要点は、5つ記載されています。

- (1)本人の人格及び名声に非難の余地のないこと。
- (2)会社に対する一般社会、同業者、取引先の評判が最良のもの。
- (3)奉仕に関心を持ち又熱心であること。
- (4)財政的義務をただちに果たすことが可能であること。
- (5)毎週の例会に几帳面に出席できること。

となっています。当時ロータリアンとしての品格と奉仕の精神を大切にしていたことが垣間見れます。当時のいろいろなことを調べてみると、先人の方たちのロータリアンとしての熱い思いや気概を感じます。小谷会長の方針「覧古考新」の通り。古きを知ることによって今を顧み、新たな思いを醸成する大切な年にするべきなのだと思います。

11月結婚祝

渡部 省一	会員	1972.11.25
深澤 知博	会員	1983.11. 3
石原 英樹	会員	1984.11. 3
松田 貴史	会員	1994.11.22
所 輝泉	会員	2009.11. 1

乾杯

11月の誕生結婚祝いの方大変おめでとうございます。クラブにもそれぞれ誕生日とも言うべき創立の年月日があります。帯広西ロータリークラブは1972年2月24日に創立です。

田中 利昭 会員



会長報告

2012年13年の川田さんが会長なされた時に高松ロータリークラブと友好のロータリーというものを結ばさせていただきました。福家さんという向こうの高松ロータリーさんの会長さんと川田さんが長印をして友好ロータリーが始まっております。その翌年に高松の会長で請川さんが来られました。20人で帯広にお越しいただき

谷脇 正人 副会長



会長 小谷 典之
幹事 工藤 正宏

副会長 田中 耕吾
副会長 谷脇 正人

会場監理理事 天野 清一
プログラム委員理事 立崎 貴之

発行：広報委員会
委員長 郷 誠一 (副)山口 貴可



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

■ 会務報告

谷脇 正人 副会長

①帯広南RC、移動例会開催のご案内

日 時 11月8日(月)午前11時

場 所 帯広市児童会館

②帯広南RC、夜間例会開催のご案内

日 時 11月15日(月)午後6時30分

場 所 北海道ホテル

③帯広南RC、11月22日(月)の例会は、休会と致します。

帯広東RC、11月23日(火)の例会は、祝日のため休会と致します。

④帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 11月25日(木)午後6時30分

場 所 北海道ホテル



■ ニコニコ献金

太田 豊 親睦活動委員

山本 範之 会員

本日、担当例会です。よろしくお願いいたします。

金尾 剛 会員

①先日のアマノ会でコンペでエイジシュートが出来、嬉しく思いました。

②10月のゴルフ同好会で準優勝賞頂きました。ありがとうございました。

江口 文隆 会員

久々の出席です。おかげさまで最近良いことがあった気がします。

谷脇 正人 会員

①本日2度目の会長報告です。よろしくお願いいたします。

②帯広郷土芸能、平原太鼓が帯広市文化奨励賞をいただきました。保存会会長として表彰式に出席しました。

太田 豊 会員

本日ニコニコ発表させていただきます。



■ 委員会報告

近藤 真治 米山記念奨学委員長

現在の米山記念奨学特別寄付金の経過報告をいたします。11月2日現在27名の間より特別寄付をしていただき総額で57万円となっております。



ニコニコ	11月4日	17,000円
献金	累計	249,000円 (11月4日現在)

◆ プログラム

山本 範之 ロータリー財団委員長

「世界でよいことをしよう」



今日は世界でロータリアンが良いことをしている実例を中心にプログラムを進めたいと思います。

寄付が世界にもたらす影響わずか60セントで一人の子供をポリオから守る事が出来ます。50ドルで水を介する疾病から人々を守るために安全な水を提供することができます。500ドルでいじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ子供たちに安全な環境を作ることができます。

ロータリアン財団というのは正式名称は国際ロータリアンのロータリアン財団というのが正式名称です。法人会員は非営利法人国際ロータリアンということで国際ロータリアンの100%子会社がロータリアン財団ということになります。ロータリアン財団の財務になりますが、2010年6月末年次報告より国際ロータリアン純資産が1億5000万ドル弱、収入が1億510万ドル、ロータリアン財団は純資産が11億2600万ドル、収入が3億4300万ドル弱ということで、ロータリアン財団は国際ロータリアンの子会社ですが子会社の方が大きくなったということになります。

ロータリアン財団の使命と致しましては、ロータリアンが人々の健康状態を改善し教育への支援を高め貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成出来るようにするという事です。これは一つのロータリアンとして一致団結することでロータリアンは使命を果たすための強い土台を築いています。ロータリアンの会員は会費を通じて国際ロータリアンを支援し企業を通じてロータリアン財団を支援しています。

ビジョン四つの優先項目7つの重点分野というのは前提にあります。ロータリアンのビジョンは、世界で地域社会でそして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。これらの優先項目は、財団のさらなる発展を目指して設けられたものです。

1つ、永久にポリオ撲滅する。

2つ、ロータリアン財団に対するロータリアンの知識参加寄付を向上させる。

3つ、財団の補助金と7つの重点分野を通じてロータリアンの人道的奉仕の質を高める。

4つ、ポリオプラスにおける成果と「世界で良いこと」をしてきた、100年の歴史に特に注目し財団によるこれまでの実績に対するイメージと認識を高める。

ロータリーの7つの重点分野、これは平和の推進、疾病との戦い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域社会の発展、環境の保護です。

ロータリー財団とは、ロータリアンが所有する財団、世界の最も誠実なニーズに応える、世界における活動範囲は国連を超える、政府などの支援が行き届かないところで活躍、をするという活動をしています。チャリティーナビゲーターによる慈善団体の最高評価四つ星を頂いております。91%の資金はプログラムと管理運営費に使用されています。今日、紛争、暴力、弾劾、人権侵害によって家を追われた人の数は7000万人、その半数が子供です。このような状況を私たちは絶対に受け入れません。ロータリーは異文化交流を通じて相互理解の心を育て紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて、平和な世界作りを促進します。平和の推進におけるロータリーの四つの役割として、実践者としての役割、教育者としての役割、調停者としての役割、提唱者としての役割があります。

ナイジェリアでは大学長とロータリークラブが難民への協力と食料の配給を通じてボコ・ハラムと闘っています。荒涼とした北東部の町ヨーラにあるナイジェリア・アメリカン大学の学長室で、マージン・エンサインさんはそのニュースを聞きました。約274キロほど先にある北の町チボクで全寮制学校の女子生徒300人余りが眠っているところを襲われ、銃口を突きつけられて拉致されたのです。襲撃したのはテロリスト集団ボコ・ハラムでした。その頃すでにナイジェリア北部でのボコ・ハラムの襲撃から逃げ出した人々が難民となってヨーラになだれ込み創立間もない大学の学長であるエンサインさんはその混乱の中で奮闘していました。仲間のロータリアンを含む地元リーダーたちとともに40万人まで膨れ上がった難民の命をつなぐための食糧配給プログラムを必死に運営していたのです。「何週間も眠れない夜が続きました」とローリンズさん。「学校はすべて閉鎖され誰もが逃げ出していました。それでもナイジェリアアメリカン大学は開校し続けました」一大プロジェクトとして大学、API、ロータリアンはイスラム教キリスト教その他各宗教の指導者達と協力し飢えに苦しむ人が出ないように活動を続けました。

エンサインさんはこう語ります。「自分たちが何をしているのかを考えるひまなど誰にもありません

でした。ただひたすら募金を集め、食糧を仕入れ、配給し、人びとの世話をし続けました。6～7カ月の間、通りには数千人の人があふれ、ほぼ毎日食糧の配給をしました」2014年11月、ナイジェリア軍がムビを奪還し、ボコ・ハラムを北部へと押し返し始めました。難民もヨーラを離れ故郷へ帰り始めましたが、彼らを待っていたのは焼け野原だけ。病院も、学校も、銀行も、農場も破壊し尽くされていたのです。当たり前の生活を取り戻すには長い時間がかかるでしょう。

次にリオデジャネイロでスランプから抜け出すために若者が柔道を習っているという話です。疾病との戦いは、誰にとっても健康であることは何よりも大切。でも基本医療を受けられない人は世界で4億人と言われています。質の高い医療を受ける権利はすべての人にあると私たちは信じています。世界で数百万人が病気によって苦しみ貧困を強いられています。私たちが疾病の予防と治療に力を注ぐのはこのためです。病気の蔓延や医療不足に悩む地域社会に、仮設クリニックや献血センター、研修施設をつくったり、医師と患者と政府が協力できるインフラを設計するなど、世界中のロータリー会員は、人びとがより良い医療を利用できるよう支援しています。

1979年ロータリー誕生して74年目にポリオの予防接種が始まりました。この時は630万人に接種をしています。80年には3Hプログラムの目標設定がありまして保険、飢餓追放、人間尊重ということになっています。これは3Hのプログラムからスタートして1985年にポリオプラス・プログラムがスタートした後で2000年にWHO37か国でポリオフリー、2002年には中央アジアから欧州地域もポリオフリー。1985年来に20億人の子供にポリオを接種しています。1985年にロータリーがポリオプラスを開始した時「プラス」という言葉は、ポリオ撲滅の取り組みが子どもの間に流行する他の5種類の伝染病（はしか、結核、ジフテリア、百日咳、破傷風）の予防接種にも広がるだろうという考えを表していました。時とともに、ポリオ撲滅の取り組みによる恩恵は増えていきました。ポリオがこの世からなくなった後にも、ほかの感染症との闘いを支えていくインフラと協力態勢という遺産を意味しています。これはポリオ根絶推進運動の設立になります1988年WHO総会でポリオ根絶が決議されGPEIが立ち上げられました。当初は国際ロータリー、WHO、米国疾病対策センターで構成され、これらの団体が協力しポリオ根絶にあたっています。その後ビル&メリнда・ゲイツ財団を含む他団体や各国政府が加わりました。これについては2020年アフリカ全土に

おける野生型ポリオ根絶を宣言しました。2021年2月現在、ポリオ発症が確認されている国はパキスタンが84例、アフガニスタンが56例の2カ国のみとなりました。世界からポリオ根絶しない限り今後10年以内に世界での年間発症者数は20万件に上ると予想されています。移動する子どもたちにポリオワクチンを投与できるよう、国中のバス停留所、国境検問所、駐屯地、警察検問所が、即席の予防接種クリニックとなります。ワクチンの投与は、ファーストフードのドライブスルーよりもてきぱきと、あっという間に行われます。この手早さとは対照的に、予防接種の恩恵は永久に続きます。一人の子ども、一つの家族、一つの世代が、この2滴のワクチンで守られるのです。

今、パキスタンは、ポリオが完全になくなるまであと一歩のところまで来ています。安全な水と衛生設備の量は全ての人を持つ権利です。なのに汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子供達は水汲みなどの重労働によって学校に通えず辛い境遇を強いられています。私たちの活動は井戸を掘るだけではありません。安全な水と衛生設備を提供した上で、衛生や伝染病に関する教育も行うことで、コミュニティ全体の生活を改善し、子供の通学率を高めています。

フィリピンの農村部に住むフィリピン人にトイレの場所を尋ねると彼らはジャングルに向かって頭を向け「向こう」と言います。つまり彼らはトイレのニーズを行うために、プライバシーのいくつかの並べ替えを与える任意の場所を使用することを意味し

ます。女性は一般的に詮索好きな目を避け、暴行を避けるために長い距離を行かなければなりません。実際、地域の医療従事者に開放排便のリスクについて話すとき、寄生虫や細菌感染について教えてくれますが、女性が痴漢や嫌がらせを受けている割合が高いことを強調しています。フィリピンでは、ロータリークラブとパートナー団体が、222のトイレ、6つの雨水集水機、7つの公衆手洗い場、20のバイオ・サンド・フィルターを設置しました。このプロジェクトによって、1,000人以上の人たちがトイレ施設を利用できるようになったほか、約600人に安全な水を常時届けられるようになりました。

ロータリー財団は他の団体に寄付をするためではないロータリーの活動のために、自分たちで基金を貯めて有効に使う基金を補助金として地区やクラブが活用する補助金活用目的は人道的奉仕と人材育成世界的な規模で影響力のある活動を行う（たとえば、ポリオ根絶）結果的に、ロータリーの公共イメージ向上に繋がる。ロータリー財団委員会からのお願いです。

今回は世界のロータリアンが良いことをしている事例を紹介させていただきました。帯広西クラブは50周年という特別な年ですので世界でもっと良いことをしようということをご提案させていただきます。皆様のもとに財団委員会からお願いの文書が届きますので更なるご協力をお願い致します。世界中のロータリー会員が人々の人生を変える活動を計画継続できるのは皆様からの御寄付のおかげですロータリー財団へのご支援に心よりお礼を申し上げます。